

宇治中学校でのもう一つの大切な思い出は、育友会コーラスとの出会いです。私は、宇治中学校に13年間お世話になったのですが、育友会コーラスを担当されていた先生が異動されたことで、後半の6年間関わらせていただきました。私は、音楽とは器楽の世界での関わりしかなく、コーラスとの出会いは本当に新鮮で、新しい発見や楽しみが多くありました。

コーラスへ参加される保護者は、毎年公募によって集まられますので、当然音楽の専門家ではありません。「育友会の本部を担当しています」「カラオケは行きますがコーラスは初めてです」「◎◎さんに誘われたので参加しました」という方が大半でした。コーラスの練習は9月の後半から始まり、本番のステージまで週1回（午後7時から9時まで）全部で10回の練習で本番を迎えます。そして、私が参加するのは、さらにその内の後半の5回だけで、突貫工事で課題曲と自由曲の2曲を仕上げます。皆さんには、「私が参加するまでには、歌詞だけは覚えておいてくださいね」とお願いしていました。

私自身、育友会コーラスを通して心がけていたことは、「音楽（コーラス）を通して楽しい時間を過ごしてもらおう」「どんどん音楽が仕上がっていく感覚を味わってもらおう」「美しいメロディーやハーモニーの心地良さを感じてもらう」「音楽の素敵な世界を知ることによって音楽をもっと好きになってもらう」ということでした。幸いにも平成11年から14年までの4年間、最優秀賞(年度によって金賞)を受賞することができました。保護者の方が、心より喜んでおられる姿を見ると、吹奏楽部の生徒との喜びとは異なる、なんとも言えない格別なものがありました。



音楽を通して伝えたいこと

音楽は、人類が生まれたときから存在していたのでしょうか。人類はその進化の過程で言葉を覚え、音で様々なことを表現していました。自身の声を発したり、また時には周りにある物をたたいたりすることで、何らかの意思を伝えていたと考えられます。その当時は、単なる音であって音楽とは言えません。そして、人類は長い年月をかけて、音楽という1つのジャンルを築いてきました。では、音楽は何のためにあるのでしょうか。私は、音楽には次の4つの効果（役割）があると考えています。

第1は、気持ちを高揚する効果です。スポーツなどの試合に望む際、普段よりも気持ちを高めたり盛り上げることが大切です。現に、小中学校の運動会でも常に音楽が響き渡っており、自然に元気や勇気が湧き上がってきます。

第2は、気持ちを落ち着かせる効果です。予期していないことに遭遇したり、思わぬ出来事によりプレッシャーやストレスに悩まされているときにも音楽が助けてくれます。心地良い音楽を聞くとリラックスし、気持ちが落ち着きます。

第3は、心を癒す効果です。つらいときや悲しいとき、どうしようもないほど心が打ちひしがれ落ち込んだとき、優しい音楽の調べを聞くことによって、心が慰められ穏やかな気持ちになります。

第4は、感動や幸福感を与える効果です。深い感銘を受けて強く心が動かされることを「感動」と言いますが、音楽にはその力があります。心を揺り動かされるほどの感動を味わったとき、人は幸福感や安堵感、満足といった気分になり、次への希望が湧き上がります。